

2024 年 10 月 15 日

株式会社静岡銀行

静岡 IT ソリューション株式会社

株式会社日立製作所

静岡銀行、静岡 IT ソリューション、日立が、ミッションクリティカルなオープン勘定系システム開発への生成 AI 適用の実用化に向けた技術検証を開始

株式会社静岡銀行(代表取締役頭取:八木 稔/以下、静岡銀行)、静岡 IT ソリューション株式会社(代表取締役社長:山本 隆秀/以下、静岡 IT ソリューション)、株式会社日立製作所(執行役社長兼 CEO:小島 啓二/以下、日立)は、このたび、静岡銀行のオープン勘定系システムの機能追加開発における生成 AI 適用の実用化に向けた技術検証を開始しました。

静岡銀行と日立が共同開発し、2021 年に稼働したオープン勘定系システムは、アプリケーション構造の全面刷新とオープン化による先進技術を取り入れたことにより、35%の開発生産性向上^{*1} や、機能拡張が容易なシステム基盤の構築を実現しています。

今回の技術検証では、静岡銀行の先進的なオープン勘定系システムと、日立の生成 AI に関する知見・ノウハウを融合し、システム開発への生成 AI 適用による、さらなる生産性向上と高品質・高信頼性をめざします。

^{*1} 株式会社しずおかフィナンシャルグループ「2022 年度中間決算の概要」P27 参照

https://www.shizuoka-fg.co.jp/pdf/ir/2022/2022_2Q_scripts.pdf

■背景

近年、金融業界では、急速な経営環境の変化に対応するため、デジタル技術活用やデータ利活用など、DXの取り組みが加速しており、金融機関のシステムにおいては、人財の確保、開発プロセスの効率化、各種規定やガイドラインの遵守、および迅速な対応が求められています。

静岡銀行と日立では、従来からこれらの対応を進めており、今回の生成 AI の適用が実現することで、金融機関の根幹を支えるミッションクリティカルなシステム開発において、さらなる効率性や信頼性の向上などが期待できます。

The diagram illustrates the development and testing process for AI-based systems, comparing the current state (2024) with the target state (2025).

2024年 (Current State):

- The process follows a V-model structure:
 - 開発標準 (Development Standard)** at the top.
 - 要件定義 (Requirement Definition)** and **受入・本番稼働 (Acceptance/Production Operation)** at the top level.
 - 基本設計 (Basic Design)** and **システムテスト (System Test)** at the second level.
 - 詳細設計 (Detailed Design)** and **結合テスト (Integration Test)** at the third level.
 - 製造・単体テスト (Manufacturing/Unit Test)** at the bottom.
- 開発期間短縮 (Development Period Shortening)** is indicated as a goal between the design and testing phases.
- An illustration shows two people working on a laptop, surrounded by icons for AI, data, and testing.

2025年 (Target State):

- The process is streamlined into three main stages:
 - 技術検証 (Technical Verification)**
 - 評価 (Evaluation)**
 - 実用化 (Practical Application)**
- ノウハウ／結果の活用 (Utilization of Know-how/Results)** is shown as a key factor in the transition.
- 適用範囲拡大 (Expansion of Application Range)** and **開発標準整備 (Development Standard Improvement)** are listed as outcomes.

今回の検証範囲 (Scope of This Verification):

The scope of this verification is indicated by a bracket under the 2024 section, covering the development and testing phases.

■今後の取り組み

さらに、日立は、本取り組みを「OpenStage^{*2}」をはじめとしたオープン勘定系システムなどへ適用することをめざし、その他金融機関へ横展開することで、金融機関におけるシステム開発のモダナイゼーション推進を支援します。

<https://www.hitachi.co.jp/products/it/finance/solutions/application/banking/corebanking/index.html>

[日立的金融ソリューションに関する Web サイト](#)

■静岡銀行について

静岡銀行では、2022 年 10 月の持株会社体制への移行を機に、総合金融グループとしての機能をさらに高めながら、地域やお客さまが抱える課題解決の支援に取り組んでいます。

現在、しずおかフィナンシャルグループで推進する第 1 次中期経営計画「Xover-新時代を拓く」では、「人的資本経営」を経営戦略の中心に据え、「地域共創戦略」「グループビジネス戦略」「トランスフォーメーション戦略」「グループガバナンス戦略」の 4 つの基本戦略を展開しています。こうした活動を通じて、グループがもつ多様な機能・サービスを広く地域に提供し、社会価値の創造と企業価値の向上の両立をめざしています。

■静銀 IT ソリューションについて

静銀 IT ソリューションは、しずおかフィナンシャルグループの「IT 提供責任部門」として、事業内容である「システム開発」「システム運用」「金融サポート」「一般企業向け IT 化支援サービス」を展開しています。

当社が第 1 次中期経営計画で掲げる 10 年後にめざす姿「地域の未来にコミットし、最適な IT ソリューションを創造・提供する企業」の実現に向けて、すべてのステークホルダーに安全で付加価値の高い IT ソリューションを提供します。

■日立製作所について

日立は、データとテクノロジーでサステナブルな社会を実現する社会イノベーション事業を推進しています。お客さまの DX を支援する「デジタルシステム&サービス」、エネルギーや鉄道で脱炭素社会の実現に貢献する「グリーンエネルギー&モビリティ」、幅広い産業でプロダクトをデジタルでつなぎソリューションを提供する「コネクティビティ&インダストリーズ」という 3 セクターの事業体制のもと、IT や OT(制御・運用技術)、プロダクトを活用する Lumada ソリューションを通じてお客さまや社会の課題を解決します。デジタル、グリーン、イノベーションを原動力に、お客さまとの協創で成長をめざします。3 セクターの 2023 年度(2024 年 3 月期)売上収益は 8 兆 5,643 億円、2024 年 3 月末時点で連結子会社は 573 社、全世界で約 27 万人の従業員を擁しています。詳しくは、日立のウェブサイト(<https://www.hitachi.co.jp/>)をご覧ください。

■お問い合わせ先

株式会社日立製作所 金融システム営業統括本部 [担当：千葉、高島]

お問い合わせフォーム：<https://www.hitachi.co.jp/finance-inq/>

以 上